

2022年11月30日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会新開発食品調査部会
遺伝子組換え食品等調査会
意見・照会事項

(委員・参考人からの意見等)

ご意見・ご質問等
「従来系統と同様に、ふぐ毒の蓄積は認められなかった。」と記載があるが、新たに参考資料の添付がないことから、従来系統-4D 系統については検査していないのではないかと考える。
事務局回答
前回届出の「4D-4D 系統」と今回の「従来系統-4D 系統」については、ゲノム編集当代親は共通でございます。すでにゲノム編集当代が共通の別系統（標的遺伝子の変異の内容が同一）である「4D-4D 系統」で毒性試験を実施しているものです。 よって、本系統については毒性試験のデータはないというわけではなく、「4D-4D 系統」時に提出済という記載となっております。そのため資料は参考資料⑩となっており、次ページにて「4D-4D 系統の資料と同じのため省略」と記載してあります。

ご意見・ご質問等
特に問題はないと思われました。一点、参考資料⑧において、オフターゲット解析の結果が、一部しかしめされていません（61 箇所の候補配列のうち、4 箇所だけ示されている）。IGV 図は理解しやすいのでそのまま良いとおもいますが、解析ソフトウェアが日々使いやすくなっている現状を考えると、今回は別として、将来の届け出では、全ての箇所の解析結果をまとめて提示したものを追加していただくほうが良いかと思われました。
事務局回答
内容について問題ない旨承知いたしました。全てのオフターゲット候補について確認はされていますが、発現に関わる部分についてデータも示す方向となりその結果を示したものとなります。結果の示し方につきましては、ご意見いただいたとおり、今後事務局でも検討させていただきます。

○審議結果

全委員（6名）及び全参考人（4名）より、届出に該当と回答をいただいたため、「高成長トラフグ（従来系統-4D系統）」については、「ゲノム編集技術応用食品及び添加物の食品衛生上の取扱要領（令和元年9月19日付け生食発0919第3号）」に示す「届出」に該当すると判断された。